

『大原社会問題研究所雑誌』2014年度総目次

- (1) 2008～2012年度の総目次については2013年4月号（No.654）、2013年度の総目次については2014年4月号（No.666）を参照されたい。
- (2) 『資料室報』第1号～『大原社会問題研究所雑誌』第599・600号までの総目次については、2008年10・11月号（No.599・600）を参照されたい。
- (3) なお、大原社会問題研究所Webサイト（<http://oisr.org>）でも、バックナンバー総目次を掲載している。さらに、1997年4月号以降については、雑誌本体のオンライン・ジャーナル化、Web上での公開を行っている。

2014年4月号 No666

【特集】市民活動・市民運動と市民活動資料、市民活動資料センター	
特集にあたって	荒井容子
資料と活動の交流拠点だった「都立多摩社会教育会館 市民活動サービスコーナー」	山家利子
資料保管運動から資料センター開設まで —市民活動資料・情報センターをつくる会のあゆみ	江頭晃子
“市民活動資料”に、人びとの息遣いを訊く —『小平市史 近現代編』（2013年）の叙述から	杉山 弘
誰が、どんな思いで、誰に残すのか—市民運動にとって市民活動資料とは何か	安東つとむ
「市民活動資料」センターと市民運動を支える社会教育	荒井容子
「市民活動資料」の保存・調査・活用をめぐる	中村 修
市民活動資料—保存と公開の全国的状況	平川千宏
■書評と紹介	
松村文人編著 藤井浩明+木村牧郎著 『企業の枠を超えた賃金交渉—日本の産業レベル労使関係』	早川征一郎
藤内和公著 『ドイツの雇用調整』	名古屋功
社会・労働関係文献月録	法政大学大原社会問題研究所
『大原社会問題研究所雑誌』2013年度総目次	
月例研究会 新日本窒素労働組合と水俣病患者団体・支援団体との連携関係の形成と展開	鈴木 玲
所報	2013年12月

2014年5月号 No667

【特集】第26回国際労働問題シンポジウム 高齢者雇用と社会的保護	
特集にあたって	鈴木 玲
2013年のILO総会について	上岡恵子
新しい人口動態における雇用と社会的保護	松本真紀子
政府の立場から	寺村健作
労働者の立場から	城尾英紀
使用者の立場から	間利子晃一
人口高齢化と雇用、社会保障—日本の課題	奥西好夫

質疑応答とパネルディスカッション	
参考資料 新たな人口動態変化における雇用と社会的保護に関する決議 (第102回ILO総会決議)	
■論文	
中国における先進国型の「専業主婦」と女性就業にかんする実証分析 —2006年および2008年の中国総合社会調査CGSSデータを用いた分析	石塚浩美
■書評と紹介	
三富紀敬著『介護者の健康と医療機関—健康格差論の射程』	太田貞司
青木聡子著『ドイツにおける原子力施設反対運動の展開—環境志向型社会へのイニシアティブ』	本田 宏
笹谷春美著『フィンランドの高齢者ケア—介護者支援・人材養成の理念とスキル』	橋本美由紀
社会・労働関係文献月録	法政大学大原社会問題研究所
所報	2014年1月

2014年6月号 No668

【特集】 関東大震災90年—朝鮮人虐殺をめぐる研究・運動の歴史と現在 (1)	
特集によせて	慎蒼宇
一国史を超えて—関東大震災における朝鮮人虐殺研究の50年	姜徳相
関東大震災をめぐる教育現場の歴史修正主義	鈴木敏夫
横浜における関東大震災時朝鮮人虐殺	山本すみ子
■研究ノート	
労働雑誌『人と人』編集発行人・宮澤説成について	梅田俊英
■資料紹介	
エル・ライブラリー所蔵の近江絹糸人権争議資料—辻コレクションについて	島西智輝・梅崎 修・ 下久保恵子・谷合佳代 子・南雲智映
■書評と紹介	
近藤潤三著『ドイツ移民問題の現代史—移民国への道程』	森 廣正
ニクラス・ルーマン著／カイ-ウーヴェ・ヘルマン編／徳安彰訳 『プロテスターシステム理論と社会運動』	兼子 諭
社会・労働関係文献月録	法政大学大原社会問題研究所
所報	2014年2月

2014年7月号 No669

【特集】 関東大震災90年—朝鮮人虐殺をめぐる研究・運動の歴史と現在 (2)	
関東大震災時の「レイビスト神話」と朝鮮人虐殺—官憲史料と新聞報道を中心に	金 富子
関東大震災時の朝鮮人虐殺と地域における追悼・調査の活動と現状	田中正敬
■論文	
ドイツにおける福祉と就労の融合—アクティベーション政策の考察	福田直人
■書評と紹介	
Jocelyn Elise Crowley, <i>Mothers Unite !:Organizing for Workplace Flexibility and the Transformation of Family Life</i>	萩原久美子
永江雅和著『食糧供出制度の研究—食糧危機下の農地改革』	横関 至
兼田麗子著『大原孫三郎—善意と戦略の経営者』	榎 一江
社会・労働関係文献月録	法政大学大原社会問題研究所

月例研究会 丸岡秀子論—産業組合中央会就職時期・退職時期の確定など	松尾純子
所報	2014年3月

2014年8月号 No670

■講演	
「国際歴史探偵」の20年—世界の歴史資料館から	加藤哲郎
■論文	
地方における中間派労働組合の動向—昭和戦前期大阪南部での活動を中心に	中村正明
大原社会問題研究所研究員・高田慎吾の子ども問題研究とその展開 —社会と国家の概念と子ども保護との関連に着目して	稲井智義
■書評と紹介	
Stephen J. Silvia, <i>Holding The Shop Together: German Industrial Relations in the Postwar Era</i>	石塚史樹
井上恒男著『英国所得保障政策の潮流—就労を軸とした改革の動向』	伊藤善典
高橋弘幸著『企業競争力と人材技能—三井物産創業半世紀の経営分析』	金子良事
社会・労働関係文献月録	法政大学大原社会問題研究所
月例研究会 カルチュラル・トラウマ論の検討—公共圏論との関係をふまえて	兼子 諭
所報	2014年4月

2014年9・10月号 No671・672

【特集】社会運動としてのコモンズ(2) —コモンズ生成の動態	
特集にあたって	竹田茂夫
社会運動としての森林ボランティア活動 —都市と農山村は森林をコモンズとして共有できるか?	山本信次
漁場利用という日本の伝統的コモンズの現局面	濱田武士
危機のコモンズの動態—初期水俣病闘争の考察	竹田茂夫
■論文	
大卒者の早期離職とその後の転職先 —産業・企業規模間の違いに関する雇用システムからの考察	小林 徹・梅崎 修・ 佐藤一磨・田澤 実
ドイツ金属労組IG Metallの派遣労働問題への対応 —規制緩和後の妥協点とアイデンティティの模索	北川巨太・植村 新・ 高坂博史・徳丸夏歌
■書評と紹介	
佐藤千登勢著『アメリカ型福祉国家の形成—1935年社会保障法とニューディール』	本田浩邦
金子良事著『日本の賃金を歴史から考える』	赤堀正成
尾西康充著『小林多喜二の思想と文学—貧困・格差・ファシズムの時代に生きて』	立本紘之
社会・労働関係文献月録	法政大学大原社会問題研究所
法政大学大原社会問題研究所2013年度の歩み	
月例研究会 昭和戦前期の「護憲」の錯綜 政治的危機と帝国憲法	米山忠寛
所報	2014年5・6月

2014年11月号 No673

【特集】シンポジウム 市民活動記録管理の現状と歴史的課題—日本と韓国の事例を中心に	
特集にあたって	金慶南

東京都立多摩社会教育会館旧市民活動サービスコーナー資料の移管経緯と「市民活動資料・情報センターをつくる会」の活動	杉山 弘
水俣学関連資料管理・活用の現状と課題	花田昌宣
韓国の民主化運動、過去の継承、そして聖公会民主化運動資料館	チョ・ヒヨン
コメントと質疑応答	
■論文	
戦後日本における分散型の医療供給体制の再生産—診療所の48時間収容制限の努力規定化とその政治過程を中心に	大西香世
■証言：戦後社会党・総評史	
回顧 私と日本社会党—伊藤茂氏に聞く（上）	
■書評と紹介	
橋本理著『非営利組織研究の基本視角』	米澤 旦
菅野和夫、仁田道夫、佐藤岩夫、水町勇一郎編著『労働審判制度の利用者調査—実証分析と提言』	鶴飼良昭
法政大学大原社会問題研究所／菅富美枝編著『成年後見制度の新たなグランド・デザイン』	大曾根寛
社会・労働関係文献月録	法政大学大原社会問題研究所
月例研究会 母子世帯研究の問題構制	藤原千沙
所報	2014年7月

2014年12月号 No674

【特集】環境政策史	
特集にあたって	西澤栄一郎
環境政策史—その挑戦と課題	喜多川進
高度成長期日本の公害防止技術開発促進政策の枠組み—大型プロジェクトによる重油直接脱硫技術開発の事例から	伊藤 康
環境法化する開発法—「エコ統治性の法的地平」研究序説	及川敬貴・武田 淳
■論文	
生活保護制度における住宅扶助の歴史的検討	岩永理恵
■証言：戦後社会党・総評史	
回顧 私と日本社会党—伊藤茂氏に聞く（下）	
■書評と紹介	
高橋祐吉著『現代日本における労働世界の構図—もうひとつの働き方を展望するために』	下山房雄
ロペール・カステル著／前川真行訳『社会問題の変容—賃金労働の年代記』	鈴木宗徳
東海林智著『15歳からの労働組合入門』	上西充子
社会・労働関係文献月録	法政大学大原社会問題研究所
月例研究会 出産・育児期のワーク・ライフ・バランスと所得保障	畠中 亨
所報	2014年8月

2015年1月号 No675

【特集】新日本窒素の労使関係・労働運動の諸相（1）	
特集にあたって	鈴木 玲
戦後労使関係史における安賃闘争の位置	富田義典
戦後日本の化学工業の変容、チツと労働組合	磯谷明徳

新日本窒素労働組合と水俣病患者支援団体、患者組織との連携関係の分析	鈴木 玲
■論文	
地域包括ケアシステムの存続と自治の機能——関市国保藤沢病院を事例として	高間沙織
■証言：戦後社会党・総評史	
時代に生きた社会党と村山連立政権—園田原三氏に聞く（上）	
■書評と紹介	
樋口直人著『日本型排外主義—在特会・外国人参政権・東アジア地政学』	岡本雅享
Jiyeoun Song, <i>Inequality in the Workplace: Labor Market Reform in Japan and Korea</i>	安周永
石田光男／寺井基博編著『労働時間の決定—時間管理の実態分析』	鷺谷 徹
社会・労働関係文献月録	法政大学大原社会問題研究所
月例研究会 植民地朝鮮における私設墓地について	李相旭
所報	2014年9月

2015年2月号 No676

【特集】新日本窒素の労使関係・労働運動の諸相（2）	
新日本窒素における工職身分撤廃過程と労使関係 —水俣病と闘った労働組合の起点となった1953年争議	花田昌宣
水俣病問題に向き合う労働組合の成立と労使関係史上の意義 —漁民紛争・安賃闘争から恥宣言に至る「空白の8年」をふまえて	石井まこと
■証言：戦後社会党・総評史	
時代に生きた社会党と村山連立政権—園田原三氏に聞く（下）	
私がみてきた社会党の防衛政策—前田哲男氏に聞く（上）	
■読書ノート	
外村大著『朝鮮人強制連行』について	李相旭
■書評と紹介	
長田華子著『バングラデシュの工業化とジェンダー—日系縫製企業の国際移転』	川崎暁子
山井和則著『政治はどこまで社会保障を変えられるのか—政権交代でわかった政策決定の舞台裏』	畠中 亨
社会・労働関係文献月録	法政大学大原社会問題研究所
月例研究会 近代日本における「社会的なもの」	金子良事
所報	2014年10月

2015年3月号 No677

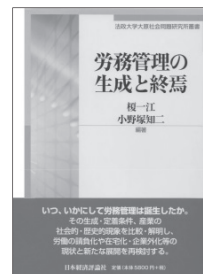
【特集】日本と韓国の若年労働者問題、若年労働者の社会・労働運動	
特集にあたって	鈴木 玲
首都圏青年ユニオンの地域を重視した活動	河添 誠
労働NPOの活動がどのように労働問題を社会問題に変えたのか	今野晴貴
世代別労働組合の発生と社会運動的労働組合運動の新たな可能性	チョン・ジュンヨン
韓国のアルバイト労働者の運動：要求とビジョン	グ・キョヒョン
質疑応答	
■論文	
1920年代の炭鉱業における技術革新と労働力構成 —三菱鉱業筑豊礦業所における朝鮮人鉱夫の使用拡大をめぐる	佐川享平

■証言：戦後社会党・総評史	
私がみてきた社会党の防衛政策—前田哲男氏に聞く（下）	
■書評と紹介	
伊藤セツ著『クララ・ツェトキーン—ジェンダー平等と反戦の生涯』	高田 実
赤堀正成著『戦後民主主義と労働運動』	五十嵐仁
大沢真理著『生活保障のガバナンス—ジェンダーとお金の流れで読み解く』	小宮山洋子
社会・労働関係文献月録	法政大学大原社会問題研究所
月例研究会 無償労働評価の2つの方向性—マクロ経済政策、ジェンダー平等政策に向けて	橋本美由紀
所報	2014年11月

大原社会問題研究所叢書

『労務管理の生成と終焉』

2014年 榎一江・小野塚知二編著
日本経済評論社



『成年後見制度の新たなグランド・デザイン』

2013年 法政大学大原社会問題研究所・菅富美枝編著 法政大学出版局

『福祉国家と家族』

2012年 法政大学大原社会問題研究所・原伸子編著 法政大学出版局

『農民運動指導者の戦中・戦後—杉山元治郎・平野力三と労農派』

2011年 横関至著 御茶の水書房